

## (ISC)<sup>2</sup> のクラウドセキュリティ資格「CCSP」試験が

### 日本語で受験可能に

2020年2月25日、(ISC)<sup>2</sup> — 世界最大のサイバーセキュリティ専門家資格の非営利団体 — は、PearsonVUE 試験センターにおいて、2020年4月1日から Certified Cloud Security Professional (CCSP) 試験が日本語で受験できるようになったことを発表しました。さらに、6月からは試験の準備をする受験者向けに日本語 CCSP トレーニングコースウェアが利用できるようになります。これらのローカライズされた教材は、日本がサイバーセキュリティで果たす重要性、サイバー犯罪との闘い、およびクラウドセキュリティスキルに対する高い需要に応えるものです。

2019年に公開された(ISC)<sup>2</sup>サイバーセキュリティ労働力調査によると、世界3位の経済大国である日本では、193,000人のサイバーセキュリティ専門家が働いています。この数字は、オーストラリア、フランス、ドイツ、シンガポールなど、他の先進国における技術的に高度な訓練を受けたスタッフの数を上回り、日本の組織がサイバーセキュリティチームを採用する重要性が認識されていることを示しています。

クラウドセキュリティは、サイバーセキュリティ全体の大きな部分を占めています。アジア太平洋地域と日本のサイバーセキュリティの未来に関する Sophos の最近の調査では、パブリッククラウドコンピューティングが、日本のセキュリティ業界のリーダーたちが今後24か月で組織のセキュリティに影響を与えると考える「3つの技術」または「問題の1つ」として考えていることが明らかになりました。

日本の経済産業省 (METI) と総務省 (MIC) は 2018 年、クラウドサービスをより安全かつ安心な方法でシステムに導入するため、[クラウドサービスのセキュリティ評価に関する研究グループを立ち上げた際](#)にこの影響を予見しました。日本政府は、他の経済圏にすでに存在する認証システムと同様に、2020年に「オンラインクラウドデータストレージサービスの安全性を認証するシステムの導入を計画している」とも伝えられています。

これらすべてがクラウドセキュリティの専門知識の需要を促進しており、これらのアクションは、認定がクラウドインフラストラクチャ、サービス、および管理を担当する個人の資格を確保するための重要な方法であるという認識です。

「CCSP 試験および関連するトレーニングは今まで英語で提供されていましたが、これを日本語化することで、より日本の皆さんに選んでいただけるようになると考えています。」と(ISC)<sup>2</sup>アジア太平洋地域のマネージングディレクターClayton Jones は述べています。「我々は、サイバーセキュリティの専門家を増やすために、網羅的な知識が重要であると認識しています。日本語で教材と試験を提供することで、日本のスキル開発を支援し、より多くの専門家が Safe で Secure な世界と資格を追求することを願っています。」

NTT アドバンステクノロジー株式会社 (NTT-AT) をはじめとする組織が、特定のセキュリティロールに CCSP 資格を要求し、多くの CCSP 資格者を育成する体制を強化しています。また、NTT-AT は(ISC)<sup>2</sup> CCSP CBK トレーニングの日本語化で(ISC)<sup>2</sup>と提携すると共に、CISSP CBK 公式ガイドブックと、CISSP 公式問題集を日本語に翻訳し、日本のサイバーセキュリティコミュニティが利用できる日本語コンテンツを提供しています。(関連情報: [\(ISC\)<sup>2</sup> and NTT-AT Expand Strategic Alliance to Strengthen Cloud Security Workforce in Japan](#))

CCSP について: [https://japan.isc2.org/ccsp\\_about.html](https://japan.isc2.org/ccsp_about.html)

PearsonVUE サイト: <https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/ISC2.aspx>

(ISC)<sup>2</sup> について

(ISC)<sup>2</sup> (International Information Systems Security Certification Consortium : アイエスシー・スクエア) は、安全で安心できるサイバーセキュリティの世界を実現することを目的とした国際的な非営利団体です。高い評価を得ている CISSP® (Certified Information Systems Security Professional)を始めとした各種資格を提供することにより、セキュリティに対して(ISC)<sup>2</sup>は網羅的、そして計画的にアプローチしています。サイバー・情報・ソフトウェア・インフラストラクチャセキュリティの専門家から成り立つ 14 万人を超える資格保持者は、差別化を図るとともに、業界の発展に貢献しています。私たちのビジョンは、慈善団体である The Center for Cyber Safety and Education™ の、社会に教育を提供するというコミットメントによってもサポートされています。(ISC)<sup>2</sup> についての詳細は、<https://www.isc2.org/>、<https://japan.isc2.org/>(日本語)、[Twitter](#)、[Facebook](#) をご覧ください。

## NTT-AT について

NTTアドバンステクノロジーは、1976年の設立以来、NTTグループの技術的中核会社として、NTT R&D のネットワーク技術、セキュリティ技術、クラウド技術、日本語処理技術、環境技術などの先端技術に加え、海外の先進技術も採用しています。これらの技術を融合してお客様の課題を解決し、お客様に付加価値を提供しています。

© 2020 (ISC)<sup>2</sup>, Inc., (ISC)<sup>2</sup>, CISSP, SSCP, CCSP, CAP, CSSLP, HCISPP, CISSP-ISSAP, CISSP-ISSEP, CISSPISMP, CBK は(ISC)<sup>2</sup>, Inc.の登録商標です。

メディアお問い合わせ先：

Brian Alberti

Corporate Public Relations Manager

(ISC)<sup>2</sup>

[balberti@isc2.org](mailto:balberti@isc2.org)

(617) 510-1540